大島製作所「黒鯛落し込み初心者講習会」盛況

初心者でもロマンのある釣りを

6月23日、(株)大島製作所の「2019年黒鯛（チヌ）落し込み初心者講習会・釣り大会」が兵庫県尼崎市の尼崎フェニックスで開催された。今年は前週に大阪南港で開催が予定されていた講習会が強風のため中止となり23日に振替となった。

当日の天候は曇り。参加者は26名。全く釣りが初めての人、落し込み釣りは初めてという人、女性グループ、子供、年配の釣り人など様々な人が参加していた。

尼崎フェニックスまでは久保渡船を利用。午前7時過ぎから渡船場所で開会式が行われた。

まず、大島製作所（Oland）のインストラクターが紹介された。当日は参加者3―4名に1人のインストラクターが付き、釣り方を丁寧に教えていった。続いて、大島工場長より当日のスケジュールや注意が述べられた。

その後、大島社長より「ご参加頂きありがとうございます。暑いですが、熱中症に気を付けてください。暑くても、ライフジャケットは常に着用をお願いします」と挨拶が行われた。

最後に座学でOlandインストラクターにより、チヌという魚についての説明や、落し込みの釣り方についてレクチャーが行われた。

座学が終わると渡船に乗り、釣り場である尼崎フェニックスに移動。関西ではチヌの落とし込みとしても有名なポイントで、直近のチヌの釣果も好調という情報があった。

午前8時頃からいよいよ実釣講習のスタート。

まず、参加者は班分けされ、それぞれの班にインストラクターが付き、座学に引き込みに明け暮れ前に込ヌ説明し船落とてチヌの出でりいが行われた

釣り大会の優勝者。50cmと48cmを釣り上げた

㊤挨拶する大島製作所の大島社長

㊤講習の様子

指導が行われた。道具類の基本的な知識から始まり、仕掛けの作り方、エサの付け方などを実演しながら教えた。

当日は、道具類（リール、竿、タモ、仕掛け、救命具等）の無料レンタルも行われており、釣りが全くの初心者でも安心して参加できる。

道具類の用意が終わると、班に分かれて実釣が行われた。エサを落し込んでいく方法や、アタリの出方などの説明が行われたほか、釣り場のポイントの見分け方や、移動のテンポ、アワセ方など一連の動作のすべてが実演を交えてレクチャーされた。

最初は道具の扱いにも慣れず、また目印に出るアタリも分からないため参加者も苦戦していたが、時間が経つと各ポイントで竿が大きく曲がりだした。釣れるチヌも40cmオーバーばかりで、最大魚は50cmのチヌが釣れ、講習会も大いに盛り上がった。参加者も慣れてくると、インストラクターに質問しながら、いろいろ自分でも試し、シンプルな仕掛けで、大きなチヌが釣れる落し込み釣りの魅力を十分に感じていたようだ。

正午には実釣時間も終了となり、表彰式と閉会式が行われた。当日、一番良く釣った参加者は、女の子で50cmと48cmのチヌを釣り上げ、閉会式では大きな拍手となった。全体では8人、7尾のチヌが釣れた。いずれも良型で、初心者のイベントとしては上々の釣果となり、今年も盛況の内に終了となった。

最後に大島社長にこの初心者講習会について聞いた。

「昔、私が独学で落し込み釣りを始めたとき、1年間釣りをして1尾も釣れませんでした。しかし、ある人に教えてもらいながら釣りをすると、2回目で45cmのチヌが釣れたのです。やはり、分かっている方にコツを教えてもらいながら釣りをするのは大違いだと思いました。その方の勧めもあり、初心者を対象とした講習会を行うようになり、規模も大きくなりながら今に至ります。講習会を続けているうちに、ベテランの方が増えてきて、落し込みの釣り大会も開催するようになりました。大会も講習会の延長のような形です。

大阪湾では大きなチヌも多く、魚影も濃いです。これは、大阪釣具協同組合さんや日本釣振興会さんが、長年にわたり、毎年チヌを放流してくれている効果もあると思います。感謝しています。

私も落し込みでチヌを釣った時は感動しました。大阪湾という近場でこれだけ大きな魚が釣れるのですから、ロマンのある、夢のある釣りだと思います。初心者の方でも夢やロマンを感じられる釣りですので、ぜひ一度挑戦して欲しいと思います」

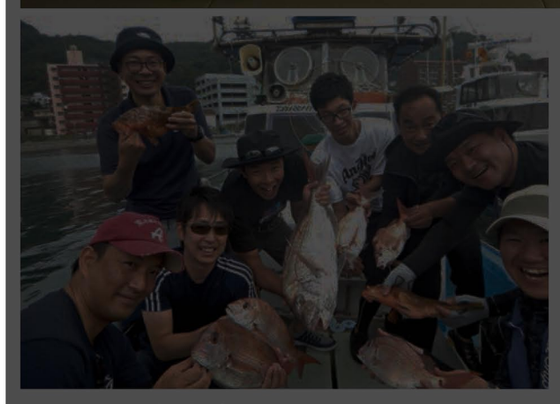
兵庫県・尼崎フェニックスで開催。40cmオーバーが7尾

参加者とスタッフで集合写真、今年も良い講習会となった

タカミヤ・釣研が合同で開催。上田社長がマダイ80cmで優勝

「釣りいこかクラブ」で釣り研修

6月22日、北九州市の関門海峡一帯で「2019釣りいこかカップ争奪 タカミヤ・釣研合同釣り研修～令和初の栄冠は誰の手に」が開催された。参加人数はタカミヤと釣研から77名。9隻の船を使い、釣り研修会が行われた。



㊤参加者はタカミヤと釣研合わせて男女77名が参加。㊨港からすぐの場所でマダイなどがよく釣れた

当日は多少の雲は出たものの、雨も降らず、海も穏やかで、絶好の釣り日和と言っても過言ではない天気の下で、「北九州釣りいこかプロジェクト」を推進しているタカミヤグループの本社社員研修が開催された。

昨年から、北九州市の要請を受けてスタートした「北九州釣りいこかプロジェクト」をタカミヤグループとして、全面的に支援して行こう、大きくPRして行こうと昨年から社員研修に組み込んでいる。

北九州港は、今年、国土交通省から日本の釣り文化の振興拠点として、モデル港に指定を受け、様々な施策やイベントが計画されている。

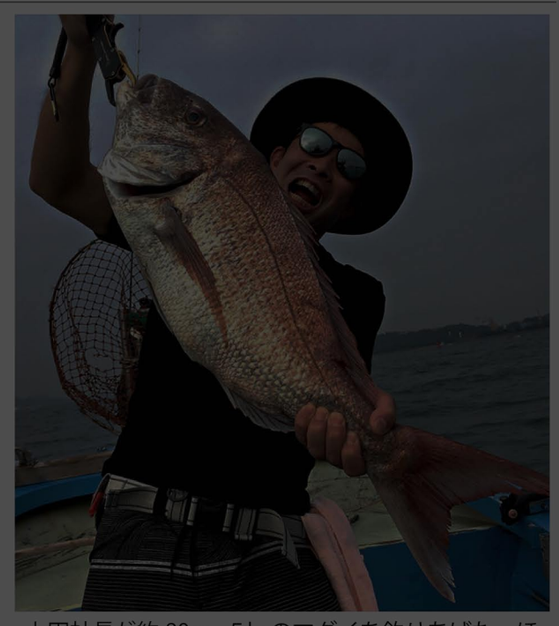
今年度は、高宮会長、上田社長をはじめ、幹部社員からパートさんまで、加えて釣研からの参加を得て、総勢77名が参加した。

女子社員やパートさんの参加も多いことから、波も穏やかで多くの魚種が楽しめる関門海峡での一つテンヤで釣果を競った。

実釣では、港からわずか10―15分の関門海峡で、マダイ、アラカブ、アコウ、マゴチを中心に良く釣れ、生まれて初めて船釣りに挑戦する女性やパートさんにも大型が釣れて、大いに賑わった釣り研修となった。

釣果としては、マダイの部で上田社長が面目躍如の約80cm、約5kgを釣り上げたほか、60cm、50cm級が検量されていた。アコウの部では50cmクラスが数尾上り、パートさんとアルバイトさんが入賞した。

「釣りいこかカップ」が高宮会長から優勝した上田社長に手渡された



上田社長が約80cm、5kgのマダイを釣りあげた。ほかアラカブ（カサゴ）、アコウなど釣果に恵まれた

釣りを堪能した後は釣った魚を使った豪華な昼食。「釣りいこかクラブ」の人気も納得

まさに、初めてでも、女性や子供さんまで楽しめる関門での釣りにふさわしい釣果であった。

他魚の部では、マゴチの60cm、50cmが次々に上がり、この部門でも女性が多く入賞しており、表彰式では興奮収まらないのか、大きな歓声が上がっていた。

昼食を取りながらの表彰式では、「釣りいこかカップ」が高宮会長から見事、令和初の優勝に輝いた上田社長に授与された。

続いて、その上田社長が釣り上げた80cm級のマダイが活きづくりとして、食卓にあがると大きな歓声が上がり、全員に振舞われた。

午前中は釣りの醍醐味を堪能し、午後は、関門海峡を見渡せる海鮮レストランでの昼食と、まさに「釣りいこかプロジェクト」が北九州ならではの一級の観光資源であり、今後、国内外問わず、賑わいづくりに大きく貢献できる施策になると感じた1日であった。

× × ×

・上田社長優勝のコメント

これまでの社内釣り大会では振るわない釣果が続いており、今年こそはと決意を新たに臨みました。今回は運よく優勝することが出来ましたが、船長、一緒に同船した仲間、そして関門の海に感謝です。

港から5分でこのサイズのマダイ。関門の素晴らしい魅力を再認識しました。

美味しい高級魚をみんなでワイワイ言いながら楽しく釣って食す。レジャーの王様である釣りの魅力をもっともっと沢山の方々に知って頂きたいです。

ロジスポの共同配送
ロジスポなら、ロッドの運送費を安くする方法があります。
LOGISPO
ロジスポから全国の釣り具店様に出荷する荷物と貴社のロッドを一緒に発送できる仕組みを作りました!
【共同配送 3つのメリット】
安　価
ロッドの運賃コストを安くできます。
当社から釣り具店様に出荷する商品と貴社のロッドを一緒に出荷することにより、運送費を安くできます。運送業者は従来の路線便をエリア毎に最適な選択をして活用します。とくに170cm以上のロッドがお安くなります。
安　心
物流の効率運営も安心してお任せください。
当社にて在庫保管をさせて頂き、釣り具物流のプロとしての経験と最新物流システムで常に誤出荷ゼロ、在庫差異ゼロを目指す取り組みを行っています。当社に物流業務の一切を任せて頂き、貴社は本来の営業/販売/販促活動に力を注いで頂けます。
大満足
釣り具店様にも喜ばれます。
釣り具店様へはメーカー別に梱包され一括に納品されますので、荷受け回数が大幅に減ります。
小売店
A社 B社 C社 D社
株式会社ロジスポ　〒205-0011 東京都羽村市五ノ神365番地 TEL:042-554-9911　FAX:042-554-9230
詳しくは当社まで　http://logispo.co.jp